

2023年度 阿南高専出前講座（第27回，第28回）



エスシー企画株式会社

山 村 猛

Yamamura Takeshi

（建 設 部 門）

1. はじめに

平成22年度に始まった「阿南高専出前講座」も今年で13年目を迎え、これまでに26回の講座を行ってきました。今年度も阿南高専の要望を受け、4年生が7月はじめに行う「インターンシップ先の決定」の前に学生への情報提供として「技術士個人が仕事にどのように関わっているか、技術士の世界はどのようなものかなどについて、”生の声”を学生に話をする機会を持つ。」という目的から、6月中旬から講座を開催することとなりました。

今回の出前講座は、2日間に分けて開催することとなり、建設コースの3年生で90分、4年生で160分の講座時間を確保することができ、昨年度に比べて余裕のある講座運営となりました。

また、4年生の出前講座では、ワールドカフェ方式によるグループワークの開催など、新たな試みに挑戦するなど、講師（会員）にとっても学びの多い講座となりました。

ここに、ご支援をいただいた支援スタッフの皆さまにあらためてお礼を申し上げ、今年度の出前講座の実施報告をいたします。

2. 概要

(1) スケジュール

今年度の出前講座は、阿南高専との1回の事前協議を踏まえて、全2回の出前講座を実施しました。出前講座の実施内容は下表に示すとおりです。

表-2.1：出前講座の実施内容

事前協議				
第1回	日 時	2023年4月17日 10:00 ～ 11:00		
	参加者	支援スタッフ2名 (山口委員長, 山村理事)		
	目 的	実施方針, 開催日時, 対象学生等の確認		
出前講座(建設コース4年生)				
第27回	日 時	2023年6月16日	12:50 ～ 17:00	人 員 支援スタッフ 14名
	対 象	建設コース4年生 (27名[男子18名, 女子9名])		
	主 題	『建設業界での技術士の立場と日常の仕事内容を実際に聞いてみて, 自分の進路について考えてみよう。』		
	実施内容	■ミニ講義「建設業界における技術士の立場と役割」: 平野理事 ■グループワーク(ワールドカフェ方式) ■反省会		
出前講座(建設コース3年生)				
第28回	日 時	2023年7月5日	14:00 ～ 17:00	人 員 支援スタッフ 12名
	対 象	建設コース4年生 (21名[男子12名, 女子9名])		
	主 題	『建設業界の仕組みを知り, 技術士と実際に話してみて, 技術士の役割と 必要性を理解し, 自分の進路と資格取得の意義について考えてみよう。』		
	実施内容	■ミニ講義「私の仕事」: 島村氏 ■グループワーク ■反省会		
意見交換会				
	日 時	2023年9月1日 19:00 ～ 21:00		
	会 場	徳島駅前バル「Cafe&Bar ドン・ガバチョ」		
	実施内容	意見交換: 出前講座のあり方について		
	参 加 者	16名(技術士: 12名, 高専教官: 4名)		

支援スタッフとして、延べ26名の方々にご協力をいただきました。

表-2.2：出前講座支援スタッフ名簿

	NO.	氏 名	所 属	4C講座 (6/16)	3C講座 (7/5)	技術部門ほか
支援 スタッ フ	1	アキツキ ヒトシ 秋月 均詞	(株)エコー建設コンサルタント (徳島県OB)	×	×	建設部門(河川,砂防及び海岸・海洋) 一級土木施工管理技士, 測量士
	2	アマノ トシヒコ 天野 俊彦	(株)エコー建設コンサルタント	○	×	建設部門(道路) ROOM, 地質調査技士, 1級土木施工管理技士, 下水道技術検定2種
	3	ヤマモト ヒデアキ 山本 秀樹	エスシー企画(株) (徳島県OB)	○	○	建設部門(河川,砂防及び海岸・海洋) 一級建築士, 測量士, 下水道技術検定(2種), 一級土木・造園・管 工事・建築施工管理技士
	4	アマノ ヒロシ 天野 大	(株)エフ設計コンサルタント (徳島県OB)	○	○	総合技術監理部門(建設-建設環境) 建設部門(河川,砂防及び海岸・海洋/建設環境) 上下水道部門(下水道), 環境部門(自然環境保全), 一級建築士
	5	イシダ エミ 磯田 恵美	応用地質(株)	○	×	建設部門 (建設環境) ROOM(河川,砂防及び海岸・海洋) 一級土木施工管理技士
	6	マツノ キヨシ 松野 清司	(株)環境防災	○	○	建設部門 (道路) ROOM(道路・鋼構造及びコンクリート他6部門), 測量士 一級土木施工管理技士
	7	ニシ シン 仁木 伸	技術士事務所NSサポート	○	○	衛生工学部門(廃棄物管理)
	8	カマエ マキ 仲間 真紀	四国建設コンサルタント(株)	○	×	総合技術管理部門(応用理学-地質) 応用理学部門(地質) 地質リスクエンジニア
	9	イシダ ヒロシ 石田 浩司	徳島県	○	×	建設部門(道路) 実用英語技能検定 2級
	10	フジタ マサト 藤田 真人	ニタコンサルタント(株)	○	○	総合技術監理部門(建設-建設環境) 建設部門(建設環境) 環境部門(環境影響評価)
	11	ヒラノ ヨシタ 平野 嘉久	(株)ファルコン	○	○	総合技術監理部門(建設-土質及び基礎) 建設部門(土質及び基礎) ROOM, 測量士, 1級土木施工管理技士, 地質調査技士
	12	オオハラ レイコ 大寺 礼子	(株)フジタ建設コンサルタント	○	×	総合技術監理部門(建設-河川,砂防及び海岸・海洋) 建設部門(河川,砂防及び海岸・海洋)
	13	カガ コウジ 加賀 晃次	(株)フジみらい	×	○	総合技術監理部門(建設-鋼構造及びコンクリート) 建設部門(鋼構造及びコンクリート), 博士(工学), ROOM 測量士, 1級土木施工管理技士, 1級造園施工管理技士
	14	バントウカ ヨシカ 坂東 義隆	(株)松本コンサルタント (徳島県OB)	×	○	建設部門(道路) ROOM(鋼構造及びコンクリート) 土木学会認定上級技術者(交通), 測量士, 1級土木施工管理技士
	15	ミヤズミ カツヒコ 宮住 勝彦	(株)松本コンサルタント	○	○	建設部門(鋼構造及びコンクリート) 一級建築士, コンクリート診断士, コンクリート技士, APECエンジニア 1級建築施工管理技士, ファシリティマネジャー
	16	シムラ カズキ 島村 知希	四国建設コンサルタント(株)	×	○	建設部門(河川,砂防及び海岸・海洋, 土質及び基礎)
司会 進行	1	ヤマグチ ヒロアキ 山口 博昭	(株)エフ設計コンサルタント	○	○	建設部門(道路), ROOM, 測量士
	2	ヤマムラ タケシ 山村 猛	エスシー企画(株)	○	○	建設部門(道路・鋼構造及びコンクリート), 博士(工学) ROOM(土質及び基礎・河川砂防及び海岸海洋, 港湾及び空港), 測量 士補, 一級土木施工管理技士, ファイナンシャルプランナー3級
合 計				14名	12名	

：4C講座カフェマスタ

：女性支援スタッフ

3. 出前講座の実施状況

(1) 第27回 (4C)

1) プログラム

建設コース4年生(27名)に対する講座プログラムを、以下に示します。

表-3.1：講座プログラム(4C)

スケジュール	内 容	備 考
12:50~13:20 (30分)	■事前ミーティング	司会：山村 挨拶：山口
13:20~13:25 (5分)	■はじめに ・はじめのあいさつと本日の予定	司会：山村 挨拶：山口
13:25~13:40 (15分)	■ミニ講義 「建設業界における技術士の立場と役割」	講師： (株)ファルコン 平野氏
13:40~15:35 13:40~13:50 手順説明 10分 13:50~14:30 1ラウンド 40分 14:30~15:05 2ラウンド 35分 15:05~15:15 10分休憩・閲覧 15:15~15:35 3ラウンド 20分	■グループワーク(ワールドカフェ方式) ・それぞれのカフェのテーマに沿って、個人の書いたポストイットを元に、みんなで考えて意見交換 ・自分の書いたポストイットへの意見やアドバイスは、自分で別のポストイットに記録しよう	司会：山村 カフェマスター：技術士 6名 カフェ訪問役：技術士 6名
15:35~15:45 (20分)	■発表 ・カフェの内容について各カフェ学生代表から報告	司会：山村 カフェマスター：技術士
15:45~15:50 (5分)	■おわりに ・おわりのあいさつ → 技術士退場	司会：山村 挨拶：未定
15:50~	■反省会(技術士、教員) ■アンケート(学生)	司会：山村 アンケートは高専対応 (当日に回収)

2) ミニ講義

ミニ講義では、卒業生である平野嘉久会員から「建設業界における技術士の立場と役割」と題して、「建設業界の中で、技術士がどのような役割を担い、その役割を果たすために、所属する組織の中での立ち位置や日々の仕事の内容など」について、話していただきました。

講座後の学生アンケートでは、多くの学生に「技術士についての概要・メリットなど詳しく聞けた。」「仕事の内容について知ることができた。」といった感想が得られました。



写真-3.1：ミニ講義の状況



写真-3.2：平野会員による講義状況

3) グループワーク

今年度のグループワークでは、まとまった時間を確保することができたため、ワールドカフェ方式を採用し、事前に担任の先生と決定した「3つのテーマ」について以下の手順に従って、和やかな雰囲気の中で、学生の意見を聞き、意見交換を行いました。

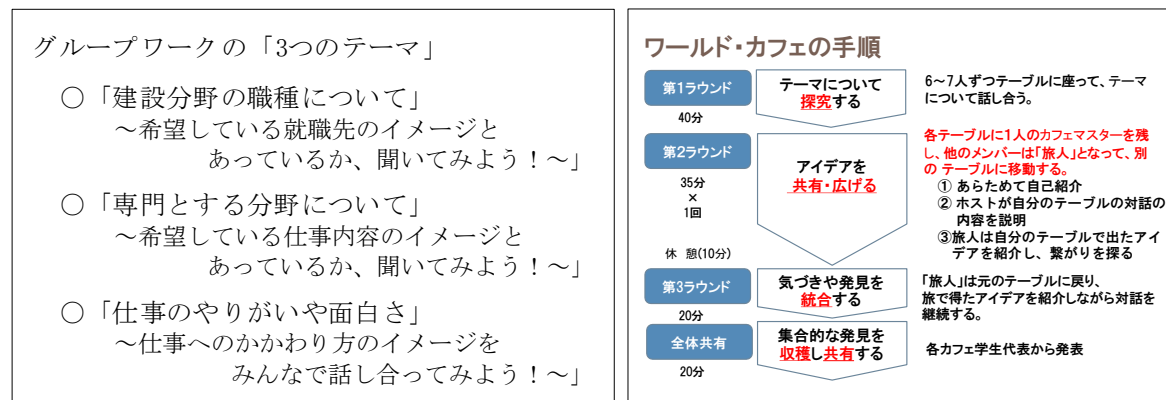


写真-3.3：グループワークの実施状況



写真-3.4：グループワークの実施状況

意見交換の方法は、テーマ毎のテーブルにカフェマスター（ファシリテーター）を中心に事前に学生が準備したテーマに対する質問について訪問者が意見を出す形としました。

数回、テーブルを移動し、意見を出し合ったあと、最初のテーブルに戻り、意見をとりまとめ、学生に結果の発表をしてもらいました。

アンケートでは、「技術士からのアドバイスの他、学生同士の意見から新しい発見があった。」などのコメントもあり、学生は幅広い意見を聞くことができたのではないかと思います。



写真-3.5：グループワーク結果発表状況



写真-3.6：出前講座4Cクラス参加者集合写真

(2) 第28回（3C）

1) プログラム

建設コース3年生（21名）に対する講座プログラムを、以下に示します。

表-3.2：講座プログラム（3C）

スケジュール	内 容	備 考
14:00～14:30 (30分)	■事前ミーティング	司会：山村 挨拶：山口
14:30～14:35 (5分)	■はじめに ・ はじめのあいさつと本日の予定	司会：山村 挨拶：山口
14:35～14:50 (15分)	■ミニ講義「私の仕事」	講師：四国建設コンサル タント(株)島村氏
14:50～15:35 (45分)	■グループワーク ・ 個人の書いたポストイットを元に、みんなで考えて 意見交換してみよう ・ 自分の書いたポストイットへの意見やアドバイス は、自分で別のポストイットに記録しよう	司会：山村 グループ進行：技術士
15:35～15:50 (15分)	■発表 ・ 学生各自で一言感想等を発表する	司会：山村
15:50～15:55 (5分)	■おわりに ・ おわりのあいさつ → 技術士退場	司会：山村 挨拶：山口
15:55～16:30	■反省会（技術士、教員） ■アンケート（学生）	司会：山村 アンケート（高専関係 者に依頼・当日に回収）

2) ミニ講義

ミニ講義では、はじめに若手技術士である島村知希会員が「私の仕事」と題して、講義を行いました。講義では、「私の仕事が建設事業に占める位置」、「技術士の役割」をポイントに支援スタッフの中で最も学生の年齢に近い立場から社会人としてのアドバイスをして頂きました。

講座後の学生アンケートでは、「新しい知識を得ることができた。」「技術士の人の生の声を聞けたのが良かった。」「どんな仕事があるのか良くわかった。」といった感想が得られました。



写真-3.7：ミニ講義の状況



写真-3.8：島村会員による講義状況

3) グループワーク

グループワークでは、事前に担任の先生との打合せにより決定した班構成、5班（学生4～5人、支援スタッフ2名）で学生が事前に準備した「技術士に聞きたいこと」を模造紙に整理し、学生に質問の意図等を確認しながら支援スタッフが回答（アドバイス）する方法で実施しました。

昨年度の反省点を踏まえ、講義の時間内で話しやすい雰囲気作りを行うため、グループの組替は行わず、学生が意見に対してじっくり回答が出来るように試みました。

授業の最後には、各学生に感想等を発表してもらい、講義で得られた意見について自分なりにまとめを行ってもらいました。



写真-3.9：グループワークの実施状況



写真-3.10：学生の発表状況



写真-3.11：出前講座30クラス参加者集合写真

4. おわりに

「2023年度 阿南高専出前講座（第27回、第28回）」は、昨年度開催できなかった、意見交換会を令和5年9月1日に実施し、予定の通りすべての行事を終了することができました。

当日は参加予定の講師の体調不良により、残念ながら出席がかなわなかった講師も若干名出ましたが、会員の皆様のご協力により人員不足にならず講義を行うことができました。

今回の出前講座も昨年度に続き6月～7月に実施することができ、4年生のインターンシップ先選定の情報提供になったと思っています。今後も、機会があれば、学生のニーズにあった適切な時期の出前講座の開催ができればと考えております。

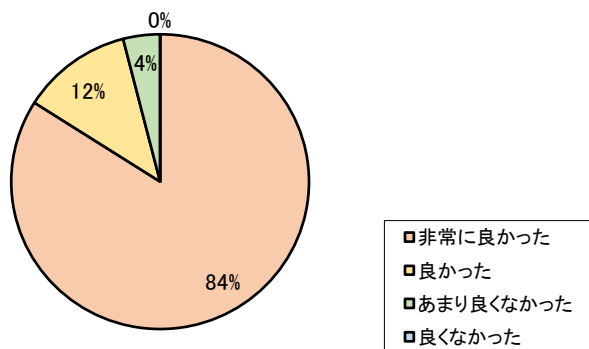
次回の機会には、若手・女性技術士の積極的な参加をお願いいたします。

【資料1】学生アンケート結果

各出前講座の終了後に、学生に行ったアンケートの結果を以下に示します。

(1) 第27回（4C）

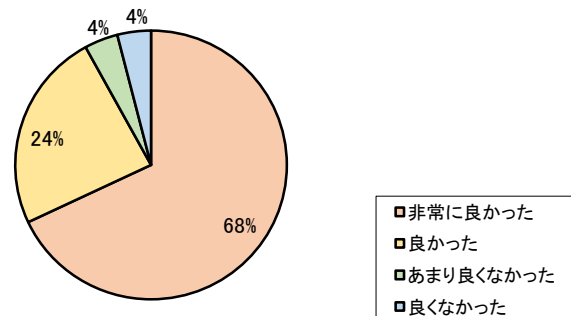
1) 出前講座の主旨について



意見

- ・将来の事を考えるきっかけになった
- ・就職活動について気になることが聞けた
- ・技術士について詳しく聞けた
- ・実際に働いている現場の人の話を聞けた
- ・進路の考え方が変わった

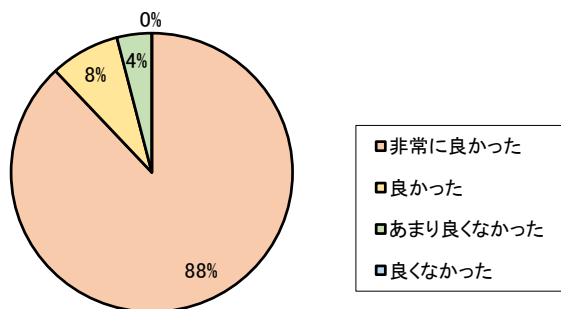
2) ミニ講義について



意見

- ・技術士についてよく理解できた
- ・仕事の内容について知ることができた
- ・技術士の人の生の声を聞けた
- ・知っている情報(前回の講座等含)もあった

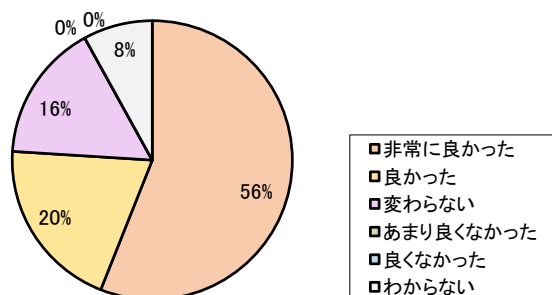
3) グループワークについて



意見

- ・技術士会の人からのアドバイスや、他の人の意見から新しい発見があった
- ・質問から派生した内容を聞けた
- ・楽しく、広く深く学ぶことができた
- ・技術者の人と気軽に話すことができる環境だった

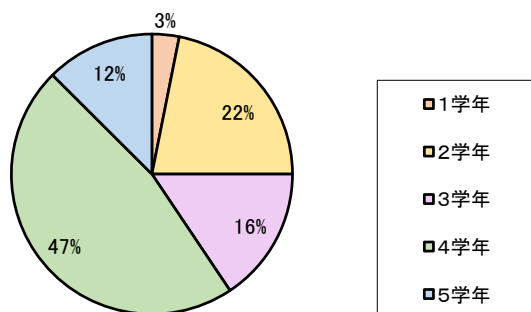
4) 昨年度、受講した出張講座のグループワークと比べて



意見

- ・コロナもなくなり、自由に受講できた
- ・昨年度より将来について考え、知識も増えていたため、具体的な質問ができた
- ・昨年度に比べ時間が延びて良かった
- ・少人数になったことで話しやすかった
- ・昨年度と内容がよく似ていた

5) 開催時期について



意見

□ 2 学年と回答した人の意見

- ・資格などに関することは早く知っておきたい
- ・早めに知ることによって後で深く考えることができるようにしたい
- ・これからの勉強のやる気に繋がると思う
- ・コース配属されてからできるだけ早く聞いた方がよい

□ 3 学年と回答した人の意見

- ・来年のインターンシップ先を選ぶ参考になる

□ 4 学年と回答した人の意見

- ・これからの就職活動に向けて、改めて参考になる
- ・インターンシップがあるから ・進路についてよく考える時期だから

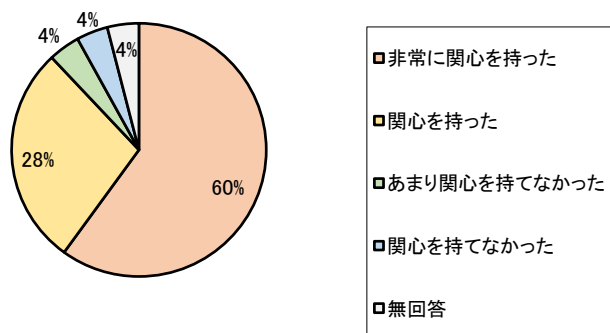
□ 5 学年と回答した人の意見

- ・進学や、就職前にたくさんのことをもう一度知りたい

□ 1 学年（5 学年）と回答した人の意見

- ・1 学年で技術士の概略を知り、5 学年では4 月頃の開催で最終的な決定に用いたい

6) 技術士資格について

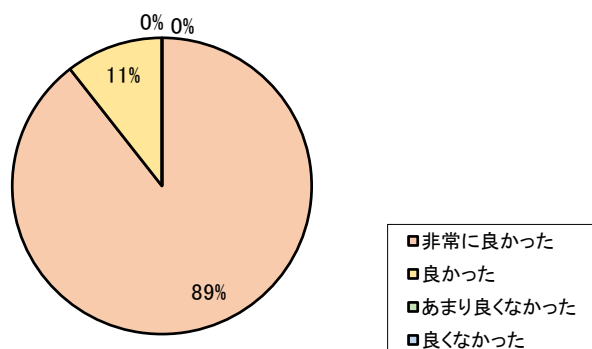


7) その他の意見・感想・要望

- ・楽しく受講できた

(2) 第28回（3 C）

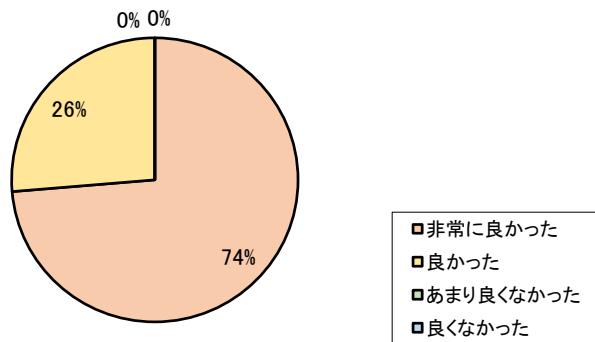
1) 出前講座の主旨について



意見

- ・将来について具体的に考えられた
- ・実際に働いている人から直接話を聞いて参考になった
- ・資格について考えることができた
- ・建設業界の職種を知れ、視野が広がった
- ・進路を決める上で参考になった

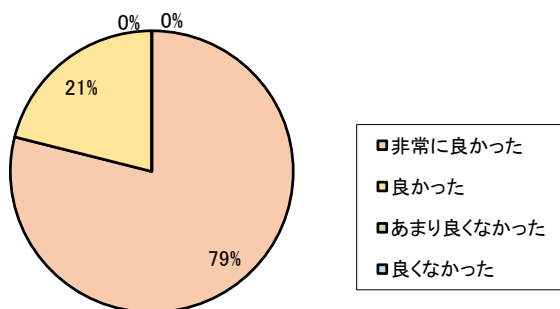
2) ミニ講義について



意見

- ・新しい知識を得られた
- ・経験を積んでいる人の貴重な話が聞けた
- ・技術士の人から直接話を聞けた
- ・聞きたかったことを聞けた
- ・自分の意見がより明確になった
- ・動画がわかりやすかった
- ・どんな仕事があるのかよく分かった

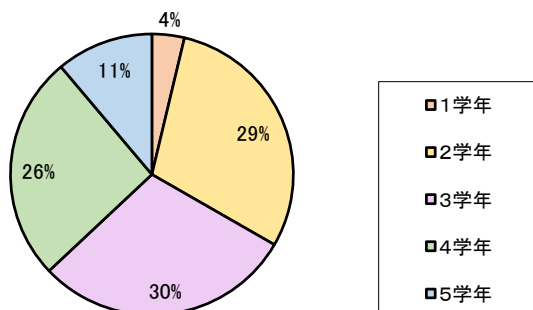
3) グループワークについて



意見

- ・みんなの質問を共有できて良かった
- ・自分が疑問、不安に思っていたことの答えを聞くことができた
- ・色々話を聞けて視野が広がった
- ・楽しく学べた
- ・とても話しやすかった
- ・詳しく教えてくれた

4) 開催時期について



意見

☐ 1 学年と回答した人の意見

- ・色々話したい

☐ 2 学年と回答した人の意見

- ・早い段階で建設・建築について知りたかった
- ・3年生より早めに実施しておいた方が、自分の進路が明確になる

☐ 3 学年と回答した人の意見

- ・進学か就職かで悩む学年だと思う
- ・楽しく学べたため毎年でも良いと思う

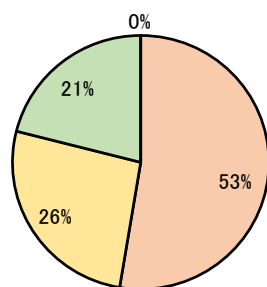
☐ 4 学年と回答した人の意見

- ・専門的な内容だったので、専門分野への理解が高い方が分かりやすいと思う
- ・進路がある程度決まってくるから

☐ 5 学年と回答した人の意見

- ・最後の締めに欲しい

5) 技術士資格について



- 非常に興味を持った
- 興味を持った
- あまり興味を持てなかった
- 興味を持てなかった

- 「関心を持った」と回答した人の意見
 - ・ 知らない職種を知ることができた
- 「あまり関心を持てなかった」と回答した人の意見
 - ・ 難しそうだと感じた

6) その他の意見・感想・要望

- ・ とても良かった
- ・ 良い経験になった

【資料2】支援スタッフ及び先生の意見

各講座の後に実施した反省会で挙げられた意見を、次に示します。

表-2.1：反省会のまとめ

項 目	主 な 意 見
グループ分け	・ 建築志望は1つのテーブルにまとめて、対応者も建築士に限定した方がよい ・ 発言が出やすいようにグループ分けを工夫するのがよい（気軽に発言できる人を1名入れる等） ・ 話す人と話さない人がいてカフェマスターの気遣いが難しい
運営方法	・ 事前に希望進路を聞いておき、希望進路（進学希望、建築志望、公務員志望等）毎の対応をした方がよい ・ 最初から質問をポストイットに書いておくとうまい ・ 学生同士の意見交換ができるとよい ・ 女性、若手、などバラエティーに富んだ技術士の参加が望ましい ・ カフェは3ラウンドで十分
時間	・ 時間配分が難しい ・ グループワークの時間が短い ・ 1回目のグループワークでは和やかな雰囲気になるために30分程必要、2回目以降のグループワークはもう少し短縮してテンポ良くするとよい ・ 回答のポストイットを書きながら次の回答を聞く状態になっていたのもう少しゆっくり回答すれば良かった
質疑応答	・ 質問は事前に準備してもらい、回答を用意しておきたい ・ 3Cにおいては進路が決まっていない学生が多く、知識も不十分であることから、基本的なところの説明が必要 ・ 意見（発言）を引き出す工夫が必要

後日実施した意見交換会で挙げられた意見を、次に示します。

表-2.2：意見交換会のまとめ

項 目	主 な 意 見
課題	・ 建築志望が多いので対応が必要 ・ グループワークの進行をスムーズにするために、カフェマスターの声掛けが重要となる ・ 時間が短い。せめて2時間は必要 ・ 細かな時間配分は調整が必要
改善案	・ 若手技術士が参加すれば、技術士としての働き方について具体的なイメージが得られるのではないか ・ 女性の学生さんが多くなってきているので、女性技術士の多数参加が望まれる ・ 3Cの学生は進路・就職が殆ど決まっていないので、1つのグループに対し県OB、コンサル、建築の技術士を配置し、色々な質問に対応すべき ・ 4Cの学生は進路・就職がある程度決まっているので、事前にそのグループ分けをし、対応できる技術士を配置するのが良い
新規提案	・ アンケートなどの意見を集計ソフトなどを用いて、まとめる側の効率化を図ってはどうか ・ 学生の親御さんに観覧していただくのはどうか ・ より良い講座のために、継続的な調査が必要である。具体的にはインターンシップを受けた後、また、その後の就職活動や進路選定において講座がどの様に役立ったか立たなかったかを追跡調査するのが良い
感想	・ 4年生の将来ビジョンと3年生の将来ビジョンには大きな差があり、難しく感じた ・ 学生のキャリア教育において重要な講座となっている ・ 学生の皆さんが技術士という資格を知っていることや、学生のうちに技術士補の取得されようとする姿を見て驚きを感じた

(2) 集合写真



写真-2.1：第27回, 第28回出前講座スタッフ集合写真